

気仙沼の観光施設 「海の市」19日再開 画面にスマホかざし購入

できる販売方法を導入する。震災前に年間100万人を集めた名物施設の復活は、地元水産業や観光の復興に一役買いそう

だ。
海の市は気仙沼の魚市場の隣接地で再建中。併設のサメ博物館「シャークミュージアム」は4月に先行オープンした。ハ

東日本大震災で営業を停止していた宮城県気仙沼市の観光施設「海の市」が19日に本格的に営業再開することが分かった。水産加工業の阿部長商店（同市）は大型画面に表示した鮮魚を、客がスマートフォンを使って購入

10分間は、カツオやサンマなど店で扱っている鮮魚を画面に映し、客は画面を見て気に入った商品を購入できる。

客が画面のQRコードにスマホをかざすと、その場で商品を購入して宅送できる。マグロの解体ショーや漁師料理の実演などのイベントも開く。

も店舗を開く計画だ。
阿部長の物販店「マーマイドスタイル」では、大型画面で1分ごとに違う漁師の姿を時刻と共に映す「漁師時計」を設置する。1時間のうち5

阿部長は生産、加工、流通を一貫で取り組む「6次産業化」を地元水産業で推し進める狙い。物販店のほかに回転寿司店とレストランも開設。気仙沼の旬の魚介類を使った様々な食べ方を発信して消費者の水産物に対する需要を掘り起こす。